

発表予定
平成31年 1月 8日

議会報告資料

<件名>

平成31年 1月 8日

岡崎市 キッズデイズ（秋休み）の設定について

<内容> 別紙のとおり

【担当】教育委員会事務局 学校指導課長 山本 則夫 Tel6323

30教学第2078号
平成31年1月8日

各小中学校長 様

岡崎市教育委員会教育長

キッズデイズ（秋休み）の実施及び平成31年度2学期始業式の期日について（通知）

このことについて、平成30年12月教育委員会定例会議にて、以下のように承認されました。

つきましては、貴校教職員ならびに保護者等関係者への周知をお願いいたします。

記

1 目的

猛暑による児童の熱中症のリスクを回避しつつ、教職員の時間外従事時間の削減を目指した小学校球技大会ならびに中学校新人戦の運営を行う。

2 期日

【キッズデイズ（秋休み）】

平成31年10月2日（水）、3日（木）、4日（金）

【平成31年度2学期始業式】

平成31年8月28日（水）

3 その他

- (1) キッズデイズ期間に小学校球技大会ならびに中学校新人戦を実施します。
各大会運営の詳細については、今後、岡崎市小中学校現職研修委員会体育部会と協議を進めます。
- (2) 本通知の内容を、平成31年3月発行の市政だよりで市民に周知を図ります。
- (3) 児童育成センターについては、キッズデイズの期間は終日開所します。

（連絡先：岡崎市教育委員会学校指導課長 電話 23-6323）

岡崎市 キッズデイズ（秋休み）の設定について

平成31年度から導入

平成30年度小学校球技大会の開催時期変更の経緯と課題

【経緯】

- ・ 猛烈な猛暑による熱中症のリスク → 夏季休業以外の涼しい時期での実施の模索
- ・ 9月下旬の土日に計画をしたが、台風の影響で延期が続く → 全種目終了が10月中旬となる

【課題】

- ・ 当初計画していた行事日程の変更（学芸会や地域との行事など）
- ・ 土・日・祝日の開催による関係教職員の時間外従事時間の増加

※10月に行われていた中学校新人戦についても、土日開催のため、小学校と同様に教職員の時間外従事時間増大の一因となっている

国の動向 【キッズウィークの推進】

- ・ 未来投資戦略2017-Society5.0の実現に向けた改革
(H29.6 閣議決定)
- ・ 「キッズウィーク」総合推進会議（第1回 H29.7 第2回 H30.4）
- ・ 学校教育法施行令の一部を改正する政令（H29.9 文部科学省）

平成31年度小学校球技大会・中学校新人戦の開催に向けて

- ① 児童の熱中症のリスクの回避
- ② 教職員の時間外従事時間の抑制に向けた平日開催の検討
- ③ 計画的な部活動の運営

目的 猛暑による熱中症のリスクを回避しつつ、教職員の時間外従事時間の削減を目指した大会運営に向けて

キッズデイズの新設

今後、進めていくこと等

【内容】

- ・ 10月第1週の水木金を休業日とする。
- ・ 夏季休業日を3日間短縮し授業日確保を行う。
→ 教育委員会定例会議での承認
「岡崎市立学校管理規則の運用について」

① 関係団体等への周知・協力依頼

- ・ 市当局・市校長会・市P連
- ・ 市総代会・市商工会・地元関係者等

② 年間行事の見直し

- ・ 市主催行事の開催時期や内容の見直し
→ 学校への周知
- ・ 各学校の行事の開催時期等の見直し
→ 保護者や地域への周知

【課題】

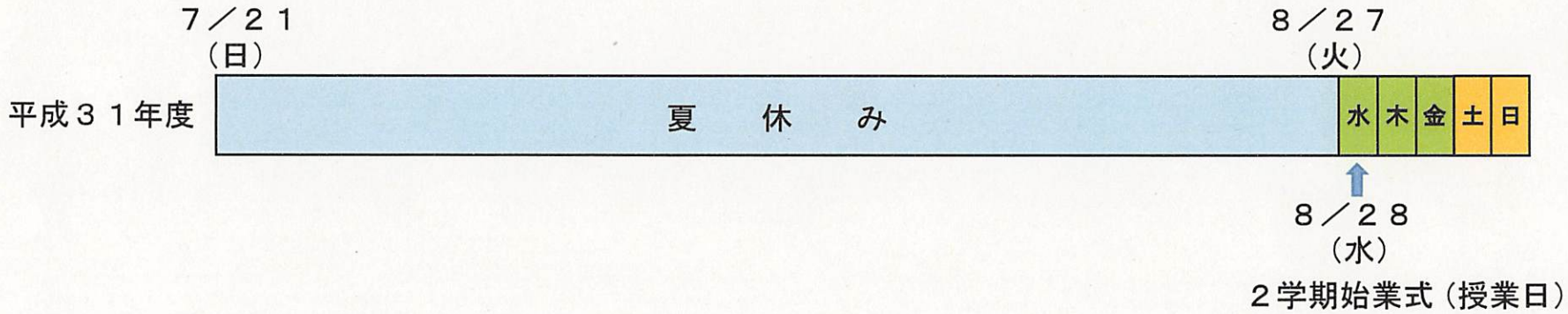
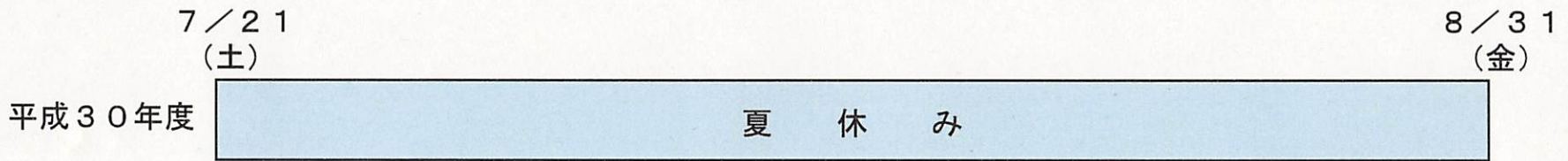
- ・ 小学校部活動の過熱化 → 無理のない活動となるよう調整
- ・ 天候等による日程変更に伴う影響 等

期待される効果

- ・ 熱中症のリスクを削減し、安全に小学校球技大会を運営することが可能となる。
- ・ 10月の時間外従事時間を最大36時間程度削減することができるなど、教職員の休みの確保に寄与できる。
- ・ 10月に休みが増えることで、子供たちが保護者や地域とともに活動する時間の確保に寄与できる。

平成31年度 夏休み・キッズデイズの日程

< 夏休み >



< キッズデイズ > 平成31年10月2日(水)、3日(木)、4日(金)

10月2日 (水)	10月3日 (木)	10月4日 (金)	10月5日 (土)	10月6日 (日)
←	小学校球技大会	→	予備日	予備日
←	中学校新人戦	→	予備日	予備日

教育再生実行会議 第十次提言、骨太の方針、未来投資戦略 (キッズウィーク関連部分抜粋)

平成29年7月18日(火)
キッズウィーク総合推進会議(第1回)資料3

教育再生実行会議 第十次提言(抜粋)

■ 自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子供を育む教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力の向上(第十次提言)

(平成29年6月1日)

1. 学校、家庭、地域の役割分担と教育力の向上について
 - (2) 家庭、地域の教育力の向上〔家庭における子供と向き合う時間の確保ー地域ごとの学校休業日の分散化〕
- 家庭教育の充実のためには、家族での旅行やスポーツ、自然体験活動などの機会を通じて、大人と子供が触れ合いながら充実した時間を過ごすことができるようにすることが重要である。
- そのため、国、地方公共団体、学校、産業界等は、地域ごとに学校の夏休みなどの長期休業日の一部を学期中の平日に移して設定する学校休業日の分散化の推進や設定した休業日における多様な活動機会の充実を図るとともに、特に経済関係の行政機関や産業界の団体は、連携・協力して学校休業日に合わせた保護者の有給休暇の取得を強力的に促進する。

骨太の方針(抜粋)

■ 経済財政運営と改革の基本方針2017

(平成29年6月9日閣議決定)

第2章 成長と分配の好循環の拡大と中長期の発展に向けた重点課題

3. 消費の活性化
- (2) 新しい需要の喚起
- ② 観光・旅行消費の活性化

大人と子供が向き合う時間を確保するため、地域の実情に応じ、教育現場に混乱が生じないように対応を検討の上、2018年度(平成30年度)から地域ごとに「キッズウィーク」を設定し、学校休業日の分散化、有給休暇取得の促進、休日における多様な活動機会の確保の取組を官民一体として推進する。

未来投資戦略(抜粋)

■ 未来投資戦略2017 -Society 5.0の実現に向けた改革-

(平成29年6月9日閣議決定)

第2 具体的施策

Ⅲ 地域経済好循環システムの構築

3. 観光・スポーツ・文化芸術

(2) 新たに講ずべき具体的施策

i) 観光

③ すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

ケ) 休暇改革

・大人と子供が向き合う時間を確保するため、地域の実情に応じ、教育現場に混乱が生じないように対応を検討の上、来年度から地域ごとに「キッズウィーク」を新たに設定し、学校の夏休みなどの長期休業日の一部を学期中の平日に移して設定する学校休業日の分散化や分散化された学校休業日に合わせた有給休暇取得の促進、休日における多様な活動機会の確保を図るとともに、これらの取組を官民一体となって推進する。

1. 方向性

- ・豊かな人生を送り、子供たちの豊かな心や人間性を育むためには、家族や仲間とともにゆったり休日を過ごすことにより、絆を深めたり、趣味に打ち込んだり、地域行事に参加したりすることなどが重要であり、1億総活躍社会に向け、働き方改革と表裏一体のものとして、休み方改革を進めることが課題。
- ・有給休暇取得率が低い状況の中、家族などで休日をゆったり過ごすことを促進するため、学校休業日の分散化及びそれに合わせた有給休暇取得促進が必要。
- ・休日の在り方の多様化により、観光需要の平準化による雇用の拡大や地域活性化につながる可能性。

夏休みなどの長期休業日を分散化することで

地域ごとに「キッズウィーク」を新たに設定し、**大人と子供が一緒にまとまった休日を過ごす機会を創出**（例えば、親子で一緒に月～金を休みとし9連休に）

2. 対応策

(1) 平成30年度から学校休業日を分散化させます！

法令上の手当てにより、夏休みなど長期休業日から平日に**学校休業日を分散化**
(休業日の設定状況や工夫事例の周知)

(2) 子供だけでなく、大人もしっかり休めます！

経済団体、企業等に**学校休業日に合わせた休暇取得を強く要請**
(有給休暇取得率を70%に(20%UP))

(3) 休みに、多様な活動機会を確保します！

文化・スポーツ団体、企業等に**活動機会の確保等を要請**
(特に、親子が親しむことができるプログラムが提供できるよう要請)

一体的に推進

(4) これらの取組を官民一体となって推進します！

- ①大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議【国】
(通称：キッズウィーク総合推進会議)
官民による意見交換、調整 等
- ②地域における休み方協議会（仮称）【地域】
地域関係者による、学校休業日設定や休暇促進方針・対策の協議
- ③観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議WG【地域】
市区町村における取組状況の確認、課題や好事例等の共有
- ④ロゴマークやキャッチフレーズによる盛り上げ【機運醸成】

1. キッズウィークとは ⇒学校休業日の分散化と有給休暇取得で大人と子供が共にゆったりとした休日をも！

- 地域ごとに夏休みや冬休みなどの学校の長期休業日から、一部の休業日を他の日に移して休業日を分散化する(キッズウィーク)。学校が休みとなった日に大人も有給休暇を取得し、大人と子供が共に休日を過ごすことを国民運動的に盛り上げていく。
- 平成30年度から、都道府県・市区町村など一定の地域単位で、全国一律・一斉といった形ではなく、地域の実情に応じ、教育現場や企業の取組などを踏まえ、学校休業日の設定をはじめ、多様なやり方で自主的に取組を進めていただくことを想定。国は、地域の取組を支援。

2. キッズウィークにより目指すもの ⇒家庭や地域の教育力の向上と休み方改革をめざし、地域・観光振興も！

- 豊かな人生を送り、子供たちの豊かな心や人間性を育むためには、家族や仲間とともにゆったり休日を過ごし、絆を深めたり、趣味に打ち込んだり、地域行事に参加したりすることなどが重要である。
- 子供と大人が向き合う時間を確保するため、学校休業日を分散するとともに、その休みに合わせて大人が休みをとり、地域行事や体験活動、旅行など多様な活動を共に行うことにより、家庭や地域の教育力の充実が図られ、地域愛を育てることとなる。同時に、大人についても働き方を見返す契機となる。1億総活躍社会に向け、働き方改革と表裏一体のものとして休み方改革を進め、有給休暇取得率70%の達成を目指す。
- また、休日が多様化することにより、観光需要の平準化による混雑緩和、ハイシーズンの宿泊料金の低廉化と雇用の拡大、地域の活性化に資する。

キッズデイズ及び2学期始業式期日変更 経過と今後の予定

平成30年12月 5日	岡崎市議会12月定例議会 築瀬太議員一般質問に対し、実施の検討を表明
12月10日	12月校長会議役員会で、実施案を提示
12月20日	平成30年12月教育委員会定例会議 第21号議案 提案ならびに承認
12月26日	両副市長へ説明
12月28日	市長へ説明
平成31年 1月 8日	1月校長会議で市内全小中学校へ実施を通知 各校で平成31年度年間行事計画作成に反映 報道発表
平成31年 1月～2月	関係機関へ実施を周知
平成31年 3月	「市政だより」にて市民に周知
平成31年度 4月	運用開始

【今後周知ならびに協力依頼予定の団体等】

- 市長
- 副市長
- 議会事務局（議長、副議長）
- 岡崎市総代会
- こども部（こども育成課、家庭児童課、保育課）
- 社会文化部（スポーツ振興課）
- 市PTA連絡協議会
- 岡崎市商工会
- 岡崎市小中学校長会
- 教職員組合